

1 単元 はたらく人とわたしたちの暮らし

2 教科の目標

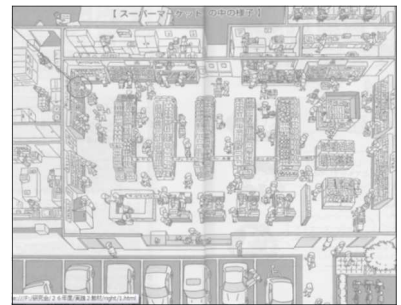
- 身近な地域の販売活動の様子を理解し、販売の仕事が自分たちの生活を支えていることに興味をもつことができる。
- 身近な販売活動の様子を調べ、仕事の特徴や他地域との関わり、販売の仕事に携わる人々の工夫を考え、適切に表現することができる。

3 活用したICT

コンピュータ

4 活用したICTの工夫

絵の中の店員などをクリックすると実際の写真が表示されるような自作教材を準備する。(資料1) それを使用することで、スーパーマーケットでの買い物経験が少ない子どもに対しても、スーパー店内の様子をイメージしやすくし、資料を読み取りやすくする。(コンピュータ)



資料1 実際の写真が表示された様子

5 実践の様子

- ① コンピュータを使って、「きょうどのがくしゅう」に掲載されている内容を追加して調べさせた。調べたことは「きょうどのがくしゅう」に書き込ませた。(資料2)
- ② 家の人にインタビューしたことを基にして、スーパーマーケットを利用するお客さんのニーズについてまとめた。
- ③ 見学をするときに注目して見るものや、店員さん・お客さんに質問する内容など見学の計画を立てた。後日、スーパーマーケットを見学した。
- ④ 見学して分かったことを付箋紙に書いて分類し、スーパーマーケットがお客さんのニーズに応えるために工夫していることをまとめた。(資料3)



資料2 コンピュータを使って調べ学習をする子どもの様子



資料3 付箋紙进行分类する子どもたちの様子

6 成果と課題

- 絵だけでなく実際の写真を見せたことで、買い物経験の多い少ないに関わらず資料を読み取りやすくすることができた。
- 子どもたちが意欲的にスーパーマーケットを見学したり、分かったことを自信をもって発表したりすることができた。
- 実際の写真を用意した場面以外にも、子どもがイメージしにくいと訴える箇所があった。子どもの視点に立った教材研究がまだ不足していた。